

「緩和ケアの質の評価」に関する意見書

委員名：丸口ミサエ

問題点・課題等	課題等に対する対応案、次期がん計画に盛り込むべき事項等
<p>【問題点】 緩和ケア病棟によって稼働病棟、稼働率、在院日数が様々である。一旦許可された後の評価が、なされていない。</p>	<p>【対応案】 日本ホスピス緩和ケア協会で行っている自己評価指針にもとづいた評価、施設の運営状況の調査を活用し、協会に監査役を委託し、協会が指導できる権利を持てるようにする。 その評価、施設の運営状況を公表する。 それによって、緩和ケア病棟が地域との連携において、効率よく有効に活用できるようにする。 (日本ホスピス緩和ケア協会へは、財政的な支援が必要だと思います)</p> <p>【次期がん計画に盛り込むべき事項】 緩和ケアの病棟の運営状況、自己評価の公表を義務付ける。</p>